地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	立川市役所													
事業所番号	A	1	0	0	0	－	0	0	3	2				
事業所等の所在地	〒	1	9	0	－	8	6	6	6	区市町村名	東京都立川市			
	町名番地以下	泉町1156番地の9												
事業所等の延床面積	25,981.60	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
前年度の報告内容からの変更点														

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 564	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,091	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,099	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 41.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	109,161.4	45.00	4,912.3	0.014	245.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他(A重油)		□	L	500.0	39.10	19.6	0.019	1.4
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	1,307,951.0	9.97	13,040.3	0.489	639.6
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	421,288.0	9.28	3,909.6	0.489	206.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 21,881.6		⑮ 1,091.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,831.0			0.251	3.0
	公共下水道		□	m^3	11,961.0			0.439	5.3
合　計									⑯ 8.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A201	地球温暖化対策の方針等の設定	A202	温暖化対策推進担当の配置
		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A203	具体的な取組目標と内容の設定
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A204	取組状況の点検体制の構築
				A207	排出状況の整理・分析・提供
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
		B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C123	温湿度の適正管理	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
		C502	採光を利用した消灯の実施	C114	事務用機器を省エネモードに設定
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C506	余熱利用による早めの空調停止
				C508	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D106	ボイラ等の定期点検の実施
		D107	ボイラ等の空気比の調整	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）		
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施		

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

太陽光発電パネル364枚を設置し、最大60kwを発電。25kw×2台のコージュネレーションを設置し、その熱を利用できる排熱投入型冷温水発生機も設置。すべての窓ガラスに、複層ガラスを使用し、断熱を実現。約2，300㎡に屋上緑化を施し、ヒートアイランドを軽減。緑のカーテンを育て、冷房負荷を低減する。屋上に降った雨水を利用し、トイレの洗浄水等に使用。自動調光機能のある照明器具を設置し、集中管理を行ない無駄を省く。夏季や中間期の夜間に外気を建物内に取り入れ、冷房負荷を低減する。エレベータの使用制限。照明器具を間引き、事務室内の照度低減。庁舎内の室温を28度で冷房の集中管理。給湯器の利用制限。B104（設備ごとに詳細に把握）、C103（空室・不在時等のこまめな消灯）、C104（採光を利用した消灯の実施）

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	立川競輪場
事業所番号	A 1 0 0 0 － 0 0 0 4
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 1 2　区市町村名：東京都立川市 町名番地以下：曙町3－32－5
事業所等の延床面積	38,825.01 ㎡　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 0 3 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	床面積の変更41303㎡→38,825.01㎡

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 591	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,147	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 13	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,160	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 29.5	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	119,948.6	45.00	5,397.7	0.014	269.2
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	480.0	36.70	17.6	0.019	1.2
	その他(A重油)	□	L	0.0	39.10	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	1,793,478.0	9.76	17,504.3	0.489	877.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 22,919.6		⑮ 1,147.4
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	20,212.0			0.251	5.1
	公共下水道	□	m^3	20,212.0			0.439	8.9
合　計								⑯ 13.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A208	組織横断的な推進体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C502	採光を利用した消灯の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C509	中央熱源機器等の季節設定実施
				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C515	自動販売機の不要時の停止
				C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C510	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D107	ボイラ等の空気比の調整	D104	空調フィルターの清掃・点検
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E129	全熱交換器の導入
				E138	高効率無停電電源装置の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	立川市健康会館														
事業所番号	A	1	0	0	0	－	0	0	1	0					
事業所等の所在地	〒	1	9	0	－	0	0	1	1	区市町村名	東京都立川市				
	町名番地以下	高松町3－22－9													
事業所等の延床面積	3,861.04	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有													
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)												
	□ 工場	□ 複合施設	■ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点															

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 125	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 243	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 244	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	5,509.9	45.00	247.9	0.014	12.4
	その他( )		□		0.0				
	その他( )		□		0.0				
	その他( )		□		0.0				
	その他( )		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	471,917.0	9.76	4,605.9	0.489	230.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,853.9		⑮ 243.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,261.0			0.251	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,261.0			0.439	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A202	温暖化対策推進担当の配置
エネルギー等の使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C502	採光を利用した消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C510	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E101	高効率照明ランプの採用（屋内）
				E132	エアカーテンの設置

実績年度の目標達成の状況	■ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）	190.0	t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

C104（採光を利用した消灯の実施）、C112（季節に応じた外気導入量の適正化）、C507（温度計等による室温の把握と調整）

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	立川市市民会館													
事業所番号	A	1	0	0	0	－	0	0	1	1				
事業所等の所在地	〒	1	9	0	－	0	0	2	2	区市町村名	東京都立川市			
	町名番地以下	錦町3-3-20												
事業所等の延床面積	11,995.68	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	■ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
前年度の報告内容からの変更点														

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 432	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 838	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 843	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	114,811.5	45.00	5,166.5	0.014	257.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,187,214.0	9.76	11,587.2	0.489	580.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,753.7		⑮ 838.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,039.0			0.251	2.0
	公共下水道		□	m^3	8,039.0			0.439	3.5
合　計									⑯ 5.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A204	取組状況の点検体制の構築
		A208	組織横断的な推進体制の整備	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
		B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
		C123	温湿度の適正管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
		C502	採光を利用した消灯の実施	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C508	空室・不在時等の空調停止
				C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C510	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）
				E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用（屋外）
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況	■ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）	67.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

B101（設備ごとに詳細に把握）　C501（個室等不使用箇所のこまめな消灯）

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	立川市子ども未来センター
事業所番号	A 1 0 0 0 － 0 0 3 3
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 2 2　区市町村名：東京都立川市 町名番地以下：錦町3-2-26
事業所等の延床面積	4,319.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 100	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 196	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 197	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 45.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	401,034.0	9.76	3,914.1	0.489	196.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 3,914.1		⑮ 196.1
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	2,572.0			0.251	0.6
	公共下水道	□	m^3	2,572.0			0.439	1.1
合　計								⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A202	温暖化対策推進担当の配置
				A204	取組状況の点検体制の構築
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C104	採光を利用した消灯の実施
		C123	温湿度の適正管理	C109	空室・不在時等の空調停止
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C132	開け放し開口部面積の縮小
		C502	採光を利用した消灯の実施	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C517	看板照明点灯時間の季節別管理	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C510	その他設備の不使用時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用（屋外）
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）	37.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

C106　冷暖房温度を都の推奨値へ変更

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	旧立川市立多摩川小学校跡施設
事業所番号	A 1 0 0 0 － 0 0 6 2
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 1 3　区市町村名：東京都立川市 町名番地以下：富士見町6－46－1
事業所等の延床面積	5,406.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 9 9　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 53	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 103	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 104	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 19.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	7,919.8	45.00	356.4	0.014	17.8
	その他(LPG)	□	kg	16.0	50.80	0.8	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	633.0	36.70	23.2	0.019	1.6
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	172,924.0	9.76	1,687.7	0.489	84.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 2,068.2		⑮ 104.0
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	2,829.0			0.251	0.7
	公共下水道	□	m^3	2,829.0			0.439	1.2
合　計								⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A205	取組内容や点検体制の定期的改善		
エネルギー等の使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C502	採光を利用した消灯の実施	C109	空室・不在時等の空調停止
		C512	進入外気に伴う空調負荷の低減	C132	開け放し開口部面積の縮小
				C114	事務用機器を省エネモードに設定
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C524	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	立川市女性総合センター
事業所番号	A 1 0 0 0 － 0 0 2 6
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 1 2　区市町村名：東京都立川市 町名番地以下：曙町2－36－2
事業所等の延床面積	3,167.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 154	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 285	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 286	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 89.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	74.4	45.00	3.3	0.014	0.2
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(産業用以外の蒸気)	■	MJ	28.0	1.36	0.0	0.060	0.0
	その他(温水)	■	MJ	818,195.0	1.36	1,112.7	0.060	49.1
	その他(冷水)	■	MJ	953,596.0	1.36	1,296.9	0.060	57.2
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	■	kWh	366,281.0	9.76	3,574.9	0.489	179.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 5,987.9		⑮ 285.6
その他	水道及び工業用水道	■	m^3	1,474.0			0.251	0.4
	公共下水道	■	m^3	1,496.0			0.439	0.7
合　計								⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A205	取組内容や点検体制の定期的改善	A202	温暖化対策推進担当の配置
				A204	取組状況の点検体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B107	主要設備の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
				C504	利用状況に応じた空調の設定変更
				C508	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	■ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	1.5	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	共済会職員会館
事業所番号	A 1 0 0 0 － 0 1 3 6
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 2 2　区市町村名：東京都立川市 町名番地以下：錦町一丁目24番39号
事業所等の延床面積	95.04 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：□ 1年度分　■ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 9 9 9　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	平成28年4月で利用休止。

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 0	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 0	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 0	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 0.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 0.0		⑮ 0.0
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道	□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計								⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	立川市役所富士見連絡所													
事業所番号	A	1	0	0	0	－	0	0	3	5				
事業所等の所在地	〒	1	9	0	－	0	0	1	3	区市町村名	東京都立川市			
	町名番地以下	富士見町7－17－12												
事業所等の延床面積	71.42	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有													
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)													
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他													
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当								
前年度の報告内容からの変更点														

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 3	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 3	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	11.6	45.00	0.5	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	6,655.0	9.76	65.0	0.489	3.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 65.5		⑮ 3.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	86.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	86.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯
		C503	利用客数の時間帯別把握	C504	利用状況に応じた空調の設定変更
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有　□ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率(前年度比)		%
	CO_2排出量(延床面積当たり)	26.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	窓口サービスセンター
事業所番号	A 1 0 0 0 － 0 1 6 1
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 1 2　区市町村名：東京都立川市 町名番地以下：曙町2－2－27
事業所等の延床面積	599.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 17	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 33	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 33	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 55.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	67,583.0	9.76	659.6	0.489	33.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 659.6		⑮ 33.0
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	121.0			0.251	0.0
	公共下水道	□	m^3	121.0			0.439	0.1
合　計								⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A502	ビルで設置する推進体制への協力		
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	商店街活性化施設
事業所番号	A 1 0 0 0 － 0 1 2 4
事業所等の所在地	〒 1 9 0 － 0 0 2 3　区市町村名：東京都立川市 町名番地以下：柴崎町3－8－10
事業所等の延床面積	108.58 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　■ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 6 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 3	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 6	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 6	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 55.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)	□	kg	600.0	50.80	30.5	0.016	1.8
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	9,702.0	9.76	94.7	0.489	4.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 125.2		⑮ 6.5
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道	□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計								⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	ファーマーズセンターみのーれ立川													
事業所番号	A	1	0	0	0	－	0	1	2	6				
事業所等の所在地	〒	1	9	0	－	0	0	3	1	区市町村名	東京都立川市			
	町名番地以下	砂川町2－1－5												
事業所等の延床面積	461.76	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	■ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	5	8	2	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
前年度の報告内容からの変更点														

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 44	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 86	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 87	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 186.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	177,242.0	9.76	1,729.9	0.489	86.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,729.9		⑮ 86.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,496.0			0.251	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,496.0			0.439	0.7
合　計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握				B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	地域文化課市史編さん担当													
事業所番号	A	1	0	0	0	－	0	1	7	1				
事業所等の所在地	〒	1	9	0	－	0	0	2	2	区市町村名	東京都立川市			
	町名番地以下	錦町3-5-22												
事業所等の延床面積	206.23	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	□ 1年度分	■ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	■ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
前年度の報告内容からの変更点	平成30年に開設													

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2018年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 2	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 5	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 5	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 24.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	11,392.0	9.76	111.2	0.489	5.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 111.2		⑮ 5.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	0.0			0.251	0.0
	公共下水道		□	m^3	0.0			0.439	0.0
合　計									⑯ 0.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

4　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の使用状況の把握					
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6　特記事項

（日本工業規格A列4番）